

家族会の社会的役割について

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会理事長
NPO 法人から・ころセンター代表 伊藤正俊

KHJ 家族会には家族が元気になり自助力を高めていくための場としてのあり方と、ひきこもりについて社会に発信していく啓蒙のはたらきを担う場としてのあり方との両面があると思います。私たちが生活している今の社会は、以前よりその数は減少したとしても、それでも毎年2万人からの人々が自ら命を絶っていく社会です。そして、学校では不登校やいじめもまた増えてきており、その中で、私達、家族や当事者は社会生活に生きづらさを感じています。

家族会は、地域社会と連携しながら、生きづらさをはらんだそのような社会をどう変えていったらいいのか、当事者団体だからこそのこの社会の矛盾や生きていく事の苦しさについて、声をあげていく使命も負っているかと思えます。

また、生活困窮者自立支援法が施行され、身近な地域における市町村単位での家族会発足も求められてくるかと思えます。誰もが排除されない社会「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」、または「お互いを認め合い、支え合い、補い合う社会」を目指していくために、草の根的に家族が集い、家族の声を発信できるための場がふえていくことが期待されます。

全国の家族の皆さまへ

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会理事長（共同代表）
中垣内正和（精神科医）

当会は1999年、埼玉県岩槻市にて故奥山雅久氏によって創設され、ひきこもりに取り組む唯一の全国的な組織として活動を重ねてまいりました。相談先すらなかった時期を経て、いまやひきこもりは、社会全体で取り組むべき課題として認識されています。

発足以来、創意工夫を続ける当会は、ひきこもり当事者やその家族になくてはならない活動団体として広く認められています。

全国の悩めるご家族の皆さま、どうぞ問題を家の中におかないで、当会にご参集ください。次世代のために、ご自身のために、新しい社会のために出会いましょう。



特定非営利活動法人

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

～誰もが希望を持てる社会へ～

全国の多くの地域で悩みを抱えているご家族・ご本人が大勢存在します。ご家族が社会的に孤立しないためにも、安心して社会とつながることができる家族会の必要性が求められています。

しかし、その運営は、どこも厳しいと言わざるを得ず、当会の活動に理解ある皆さまの支援が必要です。

当会の活動の趣旨に賛同いただける方の寄付を随時受け付けております。

◎賛助会員 10,000 円（1 口 / 年間）

◎都度寄付 1,000 円 から受付

< 寄付金お振込み先 >

ゆうちょ銀行

支店名（他の金融機関からの場合）〇一九

口座記号 00110-6 口座番号 708246

加入者名 NPO 法人 KHJ 家族会連合会

◇お申込み・お問い合わせは本部事務局まで

< KHJ 本部事務局 >

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301

TEL:03-5944-5250 FAX:03-5944-5290

<https://www.khj-h.com> info@khj-h.com

特定非営利活動法人

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会



家族会だから

できることがある

全国ネットワークを有する唯一のひきこもり家族会（当事者団体）です。

当会では、ひきこもりを抱えたご家族が社会的に孤立しないよう、全国の家族会と連携し、行政に働きかけながら、誰もが希望を持てる社会の実現を目指しています。